

新見駅周辺まちづくり検討委員会

第5回ワーキンググループ 会議要旨

日 時：令和3年8月12日（水）13：30～14：50

場 所：新見市役所南庁舎3階大会議室

出席者：ワーキンググループ9名（欠席7名）

オブザーバー、事務局

（1）アンケート調査結果について

事務局から、第4回ワーキンググループの振り返り資料を基に、資料1及び資料2により説明

<意見等なし>

（2）まちづくり基本方針（案）について

事務局から、第4回ワーキンググループの振り返り資料を基に、資料3により説明。

出席者から発言のあった主な内容は次のとおりです。

○アンケートも分析を付けたものになり、継続性も感じられるものになった。テーマもキーワードを加えて時間的な流れが入り、これから何かが変わっていくものを感じる。まちづくりのテーマ、基本目標あたりも修正が加えられている。あとは細かい調整をすればよいかと。

方針3の中で、美術館のあり方という表現だとぼやけてしまう。皆さん美術館がなくなることなどは考えていないであろう。あり方というよりも機能の充実など発展的な言葉にちょっとした修正をして、よくなるイメージに市民に伝わりやすいようにできれば。

○前回の協議内容により修正されよくなっている。まちづくりについての議論はきりがないところもあり、どこかで取りまとめて着地点を作らないといけないが、現時点としてよいのではないかと。

○わかりやすくなっている。前回、観光に関する意見があったが、新見駅が玄関口と
なつてにぎわっていけばもっと元気なまちになるのでは、と感じた。

○ある程度大詰めになっていると感じた。前回の意見にもあったが、これから具体的
なところに落とし込んで、一部取捨選択してどう実行していくのかが大事であると
感じた。

○これから誰がどう具体化していくのかの説明をお願いしたい。

事務局) 今後、基本方針策定の後、取組施策について観光関係やJRなどと協力・連
携して進めていくこととなるが、具体的にはこれから基本構想を定めていくことと
なる。その中でもっと細かく具体的に取組施策を時系列など盛り込んでいくことと
なる。各関係団体、市民なども巻き込んで進めていければ、と考えている。

○ワーキンググループで方針ごとに話し合うようになるのか。

事務局) 各方針については、引き続きワーキングでの検討をお願いしたい、と考
えている。いろいろな施策があつても全てすぐできるものではない。優先順位や時間軸
など含めてワーキンググループ中心に決めていければと考えている。

○まちづくりのテーマ、基本目標とあるが、アンケート問8の集計によると、ほとん
ど関心がない。これをどうしていくのか。大学生はある程度自主的な参加意欲は感
じられるが、一般市民は誰かがやってくれる、と感じられる。

○積極的に参加してもらえる仕組みづくりが必要では、ということか。何かアイデア
があれば。

○自分は、自分が楽しめることをしてきて、人を巻き込んできた。

○市民が参画できる仕組みづくりも考えていかないといけない。

事務局) 問8の件について、方針4の中でも記載しているが、まちづくり全体に関し
て、地元・若い力などの主体的な取組が重要である、と考えている。運営組織の構
築という表現で記載しているが、これもきっかけ、方法の一つである。

また今後、ワーキンググループの中でも取組についてご意見をいただくとともに、
ワーキンググループとしての取組を考えてもらうことも一つである。どんどん意見
を出していただきたい。

○方針4の若い力を活かしたまちづくり、とあるが、地域の年配の方からマイナス意
見があることがある。地域全体として頑張っていただくような形をとったほうが良
いのではないか。

○新見駅周辺には具体的にはどういった組織があるか。

○若連があるが、高齢化が進み若い人も増えないのが実態である。

○駅前若連として存在はしているが、高齢の方から若い人まで区別なくやっている。毎年盆踊りなどやっているが、同じメンバーが同じことを繰り返してやっている状況で、新しいことができる組織になっていない。新しく若い人が増えず、いつ解散するか、という状況である。

駅前を何とかしたい、という思いを持っている人もいるので、そのあたりを動かしていければと思う。

○ワークショップ、ワーキンググループと参加しているが、基本方針はわかりやすくなった、と感じている。新見駅は玄関であると考えており、まちの活性化には新見の色を出せ、自然もうまく取り込め、各世代が楽しめれるところ、居心地が良い、そういったスペースづくりが大切である。大学と保育にも注目されており、これらのキーワードで構想を考えていくのであれば、イメージはできるのではないか。

JRの観光列車の件があったが、その客が美術館には来ないと思っていた。美術館の展示が鉄道系であったり、このツアーが美術系のツアーだったりすれば、美術館へも誘客できたのでは。ただ、市のPRの中で新見美術館があることは認識してもらえて次につながるのでは、と思う。

○方針3の中で、「芸術」を核とした、とあるが、新見美術館とはっきり書いてもよいのでは。

○例えば、空き店舗等でアートギャラリーやアートイベントをすることも想定される。若い芸術家などの取組ができればよいのでは。美術館に限らず幅を持たせたほうが良いのでは。

○この9月の検討委員会に出すためのワーキングではなくて、取組を具体的に実施するところまでのワーキングという認識でよいか。

事務局) まずは方針を検討いただき、検討委員会に出し承認していただくというのが一つ。今後、基本構想の策定に当たっても協議の協力をお願いしたい。具体的な取組についてもご意見をいただきたい。

○縦割りにしすぎて、次は別でとなると計画倒れになってしまうと残念である。実施までやり遂げるメンバー構成にしたほうが良い。商工会議所青年部として参加しているが、団体から参加が良いのか、団体の中でも検討してもらって中長期的なメンバー構成にしてもよいのでは。

参加者の主体性の話があったが、主催者として参加する人と参加者となる人の2

つがある。主催者としての参加はアンケートから見ても少ないと思うが、おもしろいからという参加者であれば多くなるのでは。楽しいこと、賑わいを創出することが大事だと思う。ボランティアは限界がある。まちの人口減少と同じでスタッフ側も減っていく。人口減少の中で主催者をいかに確保するかが大事。市の事業だと利益の話がしにくいかもしれないが、民間の力を使って主催者側の参加者を取り込んでいくには商売が絡まないと難しいと感じた。

- 若連の存続が難しいとの話もあったが、事業者としては「もうけ」がないと、先細りしてしまう。主体となるのは事業者が多いと思うが、経済的な継続性が求められていると考えている。
- 西エリア整備事業の関係で当初は関わっていたが、駐車場の問題から交流棟の話がなくなった。どちらが大事かは人それぞれだが、満場一致にはならないと思う。
- 取組施策、基本構想については、また地元としての意見を言わせてもらいたい。
- ボランティアには限界がある、との意見があったが、福祉の関係では地域ボランティアの力で地域をよくしていく活動を推進している。人口減少の中有償ボランティアという言葉も出てきている。地域の人による主体的な取り組みになっていけば。